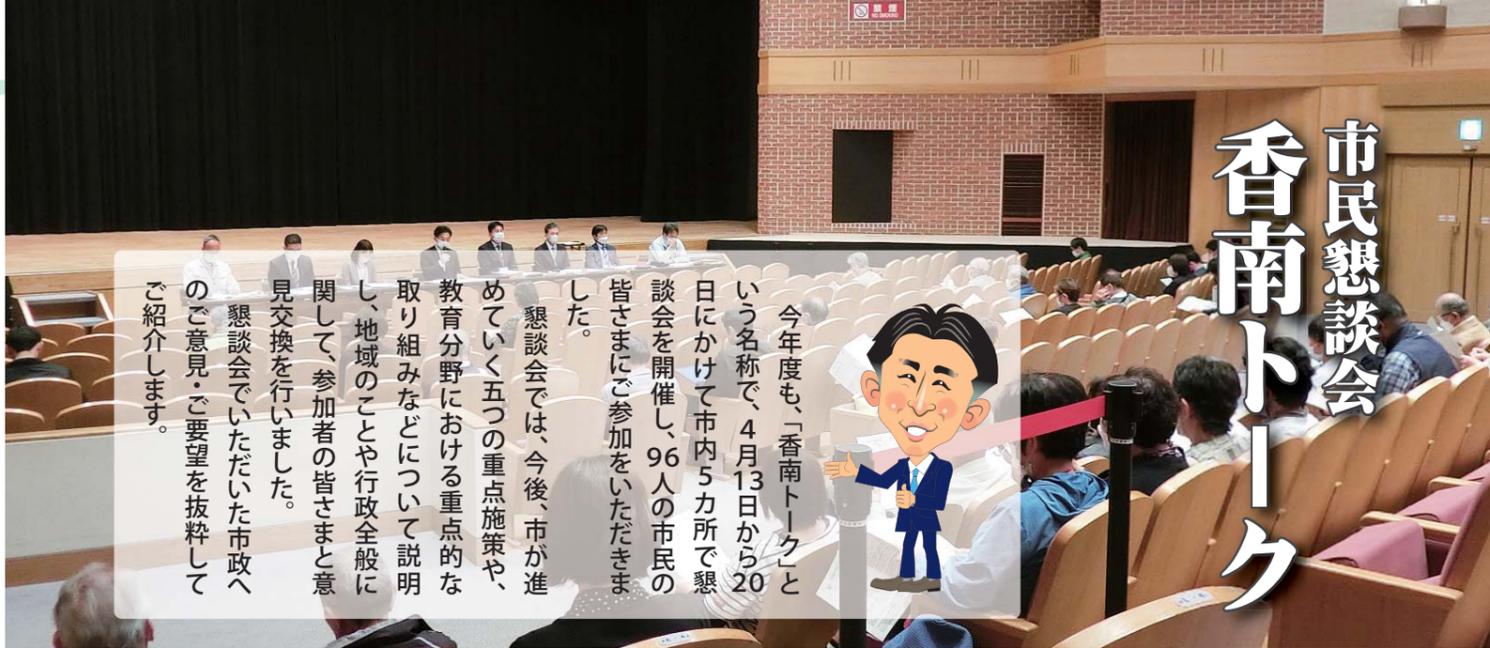


# 市民懇談会 香南トーク



今年度も、「香南トーク」という名称で、4月13日から20日にかけて市内5カ所で開催を予定し、96人の市民の皆さまにご参加をいただきました。

懇談会では、今後、市が進めていく五つの重点施策や、教育分野における重点的な取り組みなどについて説明し、地域のことや行政全般に関して、参加者の皆さまと意見交換を行いました。懇談会でいただいた市政へのご意見・ご要望を抜粋してご紹介します。

## 住民自治について

**Q** 町内会長が高齢化で次のなり手がいない。若い人は仕事があり役員を受けてくれない。行政の方で何か良い方法を持っているか？

**A** 住民自治の確立というのは難しい事ではありません。まちづくり協議会や集落活動センターなどと連携を取り、地域おこし協力隊という制度も活かしながら、地域のやりたいことを叶えられるような体制を整えていきたいと思っています。

■市長

**Q** 行政が法的に町内会の統廃合等に入ってくれるということがない。例えば現在ある3つの町内会で話し合いをして、1つにしたいという文書を作成したら、市長は受け取ってくれますか？

**A** まず地域支援課・支所に相談していただければと思います。法的にできるできない等、そしてまた、さまざまな状況をみながら一緒に考えていくことができないかと思っています。

文書については受け取ります。



## 市営バスの運行について

**Q** 運転免許証を返納し、車に乗れないので、市バスはとてもありがたいです。ただ、岸本への最終が3時過ぎで、その後の5時台の便は赤岡までです。時刻について考えていただきたい。

**A** 最終便が赤岡までという意見は伺っています。今回の改正案では月見山の方まで運行するような形で計画しています。

■地域支援課

**A** さまざまな意見を踏まえて検討しています。時刻やルートは国への届け出も必要であり、市独自にすぐ変えるということではなく、3年に1度改正しています。これからの状況により、さまざまな声を捉えてダイヤにも反映していきたいと思っています。

■市長

## 学校の適正化配置計画について

**Q** 学校の適正化配置計画というのは、高台移転ということか？

**A** 平成27年にできた規模適正化配置手引きは、児童生徒の極端な増減のあるところなどで、子どもたちのために均衡を図りながら、学校の運営を行うためにできたものです。本市では、それに加えて津波浸水予想区域についても加味し、検討しています。津波浸水予想区域から外していくということです。

また、香南市のほとんどの小中学校は昭和50年代に建築され老朽化しており、その都度、修繕をして対応をしている現状です。建て替えとなれば、莫大な費用がかかるので、これも含めて、総合的に計画を立てていかなければいけません。

■教育長

## 事前復興計画について

**A** 公共施設マネジメントは、今まで5つの町の公共施設をそのまま維持してきたというふう感じている。そのため、そのままの現状維持が難しくなっている。公共施設マネジメントは事前復興計画と重なる。津波浸水予想区域を考えた香南市としての全体のビジョンを作っていきたいと思っています。

■市長



## 市民懇談会へのご参加 ありがとうございました

市民懇談会の目的は、市民の皆さんに市の取り組む重点施策などを説明するとともに、地域の生の声を行政の各方面に反映させていくことです。

皆さんからいただいたご意見やご提案、また当日回答や後日対応の内容を、地区ごとに「市民懇談会カルテ」としてまとめています。まちづくり協議会が管理する公民館を中心にした場所へ設置していますので、ぜひご覧ください。

### ■市民懇談会カルテ設置場所

- 赤岡地区：赤岡支所
- 香我美地区：香我美支所、岸本防災コミュニティセンター、徳王子公民館、山南防災コミュニティセンター、山北公民館、西川公民館、東川公民館
- 野市地区：市役所2階市民活動支援スペース、野市図書館、みどり野東公民館のいちふれあいセンター
- 夜須地区：夜須支所
- 吉川地区：吉川支所
- ※ 市民活動支援スペースと野市図書館には全地区分を置いています



※掲載にあたり、発言の一部を誌面用に書き直させていただきます  
※掲載している内容は、掲載写真に載っている市民の方の発言ではありません

あると考えます。今後もうこうした活動を進めていきたいと考えています。

■教育長

## 子どもまんなか社会における 高齢者の位置づけについて

**Q** 教育長の話の中の基本理念「子どもに夢、青年に希望、高齢者に生きがい」とあるが、高齢者の部分は何も書かれていません。まちづくり協議会などを支えているのは、ほとんどが高齢者です。当然子どもは真ん中ではないです。その後ろには高齢者がいますので、何か施策を打ち出せないか？高齢者でも何か役に立つことはあると思います。

■市長

**A** 重点施策の中に言葉としては出ていませんが、高齢者の協力を得て、絵本の読み聞かせ、校外行事や愛校作業にも参加いただいております。

参加した方も子どもとふれあうことで、やりがいを感じているというお話も聞きます。子どももさまざまな年代の方とふれあうことで発達にも良い影響が